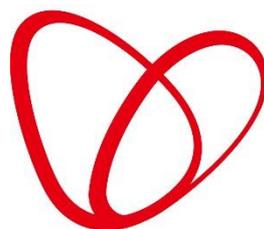




健康食品・化粧品の受託（OEM）総合メーカー



株式  
会社 **AFC-HD**  
アムスライフサイエンス



## 2021年8月期 第2四半期 決算説明会資料

(2020年9月1日～2021年2月28日)



# 健康食品業界の動向

## 健康食品市場の推移

【出所：2020.12.25健康産業速報掲載】

(特保除く、機能性表示食品含む)

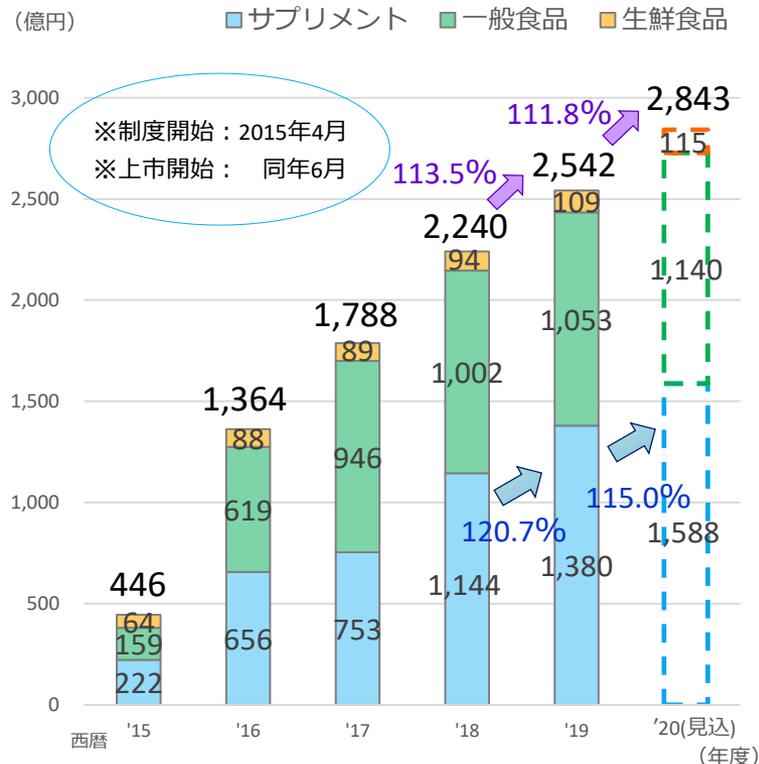
前年比  
102.3%



## 機能性表示食品の市場規模

【出所：2020.12.28発刊、

2021年版 健康食品の市場実態と展望～市場分析編～／矢野経済研究所】



2020年の健康食品市場は、コロナ禍において消費者の健康意識の高まりにより健康食品のニーズが増加し、前年比102.3%、1兆2,740億円となった。

申請が安価で効能が表記できる機能性表示食品の人気は高く、市場規模は2桁増の伸びとなっている。特に、サプリメントの伸びが、2019年度は前年度比120.7%となった。

# 健康食品 受託製造市場の動向

## 健康食品受託製造企業のOEM売上高推移

【出所：2015.6.30発刊、2017.9.29発刊、2019.6.28発刊、  
2015・2017・2019年版 健康食品の受託製造市場／矢野経済研究所】を基に当社で作成  
(矢野経済研究所推定) (売上高：百万円)

		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度 (見込)	
		売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア
1	A社	21,268	14.6%	22,539	15.2%	22,971	15.3%	26,869	16.8%
2	B社	15,730	10.8%	16,800	11.3%	17,200	11.5%	18,080	11.3%
3	C社	10,700	7.3%	12,240	8.3%	12,920	8.6%	15,200	9.5%
4	D社	9,660	6.6%	9,700	6.5%	10,140	6.8%	10,600	6.6%
5	E社	9,340	6.4%	10,230	6.9%	9,900	6.6%	9,900	6.2%
6	当社	7,720	5.3%	7,687	5.2%	8,509	5.7%	9,389	5.9%
7	F社	6,440	4.4%	7,200	4.9%	7,940	5.3%	7,120	4.4%
8	G社	4,150	2.8%	4,200	2.8%	4,600	3.1%	5,100	3.2%
9	H社	3,100	2.1%	3,400	2.3%	3,670	2.5%	5,058	3.2%
10	I社	4,600	3.2%	4,300	2.9%	4,680	3.1%	4,900	3.1%
	その他	53,292	36.5%	49,904	33.7%	47,170	31.5%	47,884	29.8%
	合計	146,000	100.0%	148,200	100.0%	149,700	100.0%	160,100	100.0%

※2019年度健康食品の受託製造市場規模予測は161,700百万円。同年度の当社OEM部門の売上高は9,591百万円。推定シェア5.9%予測

※2020年度健康食品の受託製造市場規模予測は163,300百万円。同年度の当社OEM部門の売上高は8,771百万円。推定シェア5.3%予測

上表の売上推移の通り、健康食品受託製造市場では淘汰の動きが続いており、市場の7割以上のシェアを業界トップ10の企業が占める状況となっている。この淘汰の動きは、委託先からの安全性、品質管理体制の要求が高度化していることから、今後も続くものと考えられる。当社のOEM部門は市場の5%台のシェアを確保し、業界6位の地位を維持しております。

# AFC-HD アムスライフサイエンスグループ

---

## 第 2 四半期決算報告



## 連結 業績比較表（直近3期間）

（単位：百万円）

連結	2019年8月期 第2Q 実績	2020年8月期 第2Q 実績	2021年8月期 第2Q 実績	対前年同期 増減率
売上高	8,338	7,892	9,150	115.9%
営業利益	598	565	1,016	179.7%
経常利益	617	567	1,026	180.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	502	352	734	208.2%
経常利益率	7.4%	7.2%	11.2%	—

増収要因：美容商材が伸長した海外部門を筆頭に、OEM部門、通信販売部門、卸販売部門の売上高が前年同期を上回った。

増益要因：各部門の増収効果に加え、自社製品を販売する部門の売上也伸長したことや、子会社の本草製薬では利益率の高いジェネリック医薬品の製品、仕入品への販売強化が功を奏したことにより粗利益率が改善し、連結売上総利益が504百万円の増益となったことが各利益を押し上げた。

# 第2四半期決算の状況（連結）

## 連結 事業部門別売上高の状況（直近2期間） （単位：百万円）

	事業部門	2020年8月期 第2Q実績	2021年8月期 第2Q実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	増減要因
ヘルスケア事業・医薬品事業	OEM部門	4,248	4,425	177	104.2%	青汁やビタミン等の定番商材の受注増加
	海外部門	935	1,867	932	199.7%	既存顧客において美容商材が伸長
	店舗販売部門	949	806	△143	84.9%	緊急事態宣言発令に伴い、来店客数の減少、催事の中止等により苦戦
	通信販売部門 AFC：サプリ・化粧品・ 漢方薬	702	850	147	121.0%	巣ごもり需要により、従来顧客からの受注が好調
	卸販売部門 AFC：サプリ・化粧品 本草：医科・OTC・ サプリ・化粧品	988	1,111	123	112.5%	ジェネリック医薬品の売上増加に加え、医薬品のOEM受注が増加
	その他	67	89	21	131.4%	—
合計	—	7,892	9,150	1,257	115.9%	海外部門を中心に伸長

# 連結 資産の状況

※借入・社債・割賦未払金

(単位：百万円)

連結	2020年8月期	2021年8月期 2Q	対前期末増減額
資産合計	18,548	20,011	1,462
内訳 流動資産	10,009	11,411	1,402
固定資産	8,539	8,600	60
負債合計	8,084	9,058	973
内訳 流動負債	6,204	7,942	1,737
(上記のうち有利子負債※)	(2,928)	(3,712)	(783)
固定負債	1,880	1,116	△763
(上記のうち有利子負債※)	(1,221)	(454)	(△766)
純資産	10,463	10,952	489

資産：受取手形及び売掛金が224百万円、有形固定資産のその他が117百万円減少した反面、現金及び預金が1,263百万円、建物及び構築物が235百万円、原材料及び貯蔵品が163百万円増加した。

負債：前受金の増加等により流動負債のその他が566百万円増加したことに加え、支払手形及び買掛金が210百万円、未払法人税等が156百万円増加した。

純資産：取得により自己株式が152百万円増加し純資産が減少した反面、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が593百万円増加した。



## 第2四半期決算の状況（単体）

### 単体業績比較表（直近3期間）

（単位：百万円）

単体	2019年8月期 第2Q実績	2020年8月期 第2Q実績	2021年8月期 第2Q実績	対前年同期 増減率
売上高	6,927	6,491	<b>7,170</b>	110.5%
営業利益	571	465	<b>479</b>	102.9%
経常利益	552	450	<b>537</b>	119.4%
四半期純利益	377	279	<b>400</b>	143.2%
経常利益率	8.0%	6.9%	<b>7.5%</b>	—

増収要因：OEM部門での青汁やビタミン等の受注が増加したことに加え、海外部門等が伸長したことにより、関係会社向けの製品売上も増加した。

増益要因：海外部門の子会社への移管により粗利益率が低下したほか、ストックオプションによる株式報酬計上などにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は13百万円の増加に留まった。子会社債権に対する貸倒引当金の減少効果により、経常利益では87百万円の増加となり、四半期純利益では特別損失が減少した影響も加わって、120百万円増加した。

# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

---

## 上期の状況及び 下期の取り組みについて





# OEM部門 報告と取り組み

AFC-HDアムスライフサイエンス

## 上期

売上高前年同期比：104.2%

### ■増収要因

#### ◆市場 新型コロナウイルスの影響

- ・消費者の健康意識の高まり
- ・巣ごもり需要増



- 青汁・ビタミンなど定番商材の受注が増加
- 通販（ネット・TV）商材が好調

#### ◆市場 運動不足によるコロナ太りの問題が顕在化



- 内臓脂肪の減少等のダイエットに結び付く訴求ができる機能性表示食品が好調

【機能性表示食品：当社が取り扱う届出の受理件数】

前年同期比 49社126品目 → 65社203品目 増加

【取引社数】

前年同期比 325社 → 346社 増加



## 下期

#### ◆市場

過度な広告表現に対する行政指導（薬機法違反等）が強まる中、以前にも増して機能性表示食品へのシフトが加速すると思われる。



- 機能性表示食品の届出支援を強化する
  - ・原料メーカー・販社・日本予防医学研究所と連携を取りながら推進していく



受理件数の増加による売上増

◎製造 <<安全性強化の取り組み>>

- 5月 自動外観カメラ検査機を導入予定



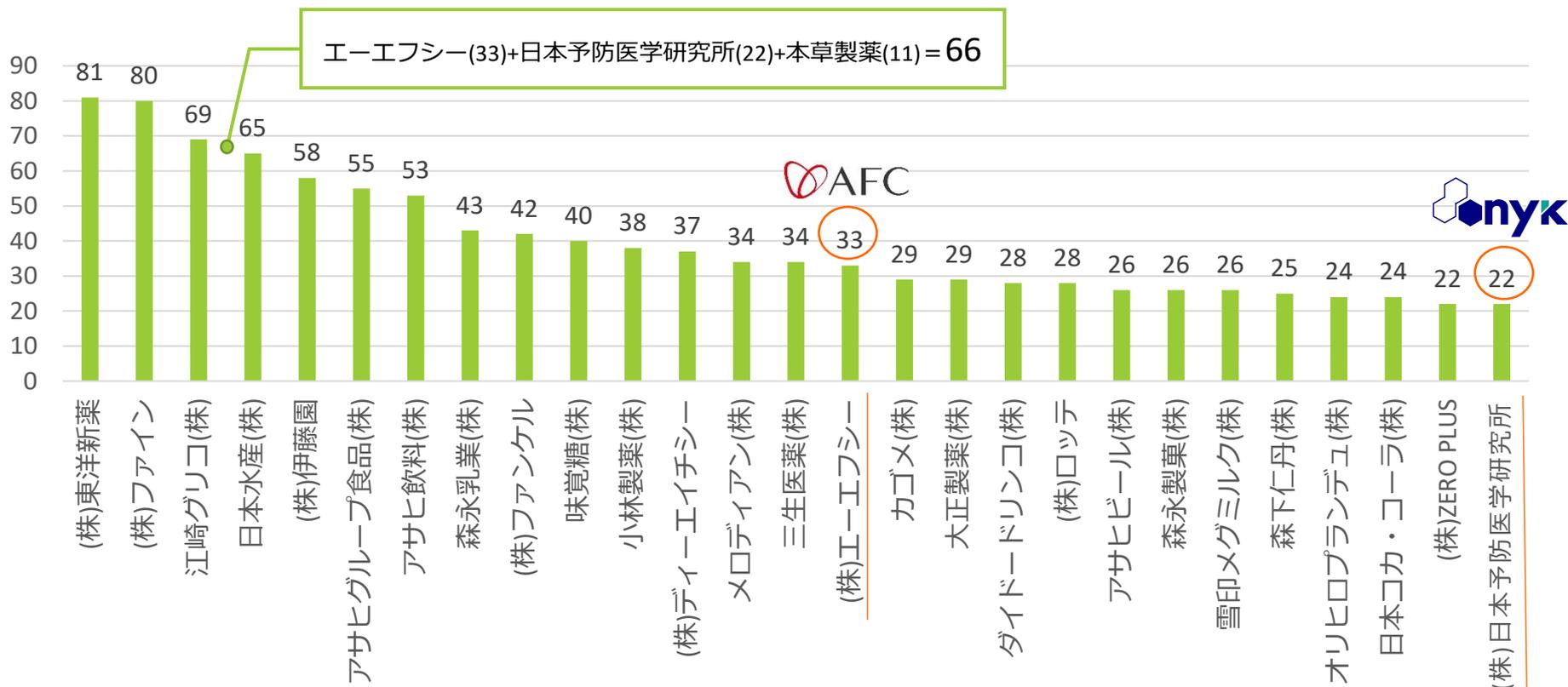
- ・品質面での顧客ニーズに対応
- ・作業効率の向上を図る



自動外観カメラ検査機

## 届出者別の総届出数

【出所：消費者庁HP／2021.3.10更新】を基に当社で作成



当社グループでも積極的に機能性表示食品を上市。

機能性表示食品の「届出者別の総届出数」では、(株)エーエフシーが33品目で15位、(株)日本予防医学研究所が22品目で26位となっており、本草製薬(株)の11品目を合わせると、当社グループの総届出数は66品目で実質4位の位置にある。

上期 売上高前年同期比：199.7%



2021年8月期より、海外部門を  
AFC-HDアムスライフサイエンスから  
エーエフシーへ移管

<目的>

当社グループが成長、発展していくためには国際化が必須であり、AFCブランドの国際化を一層強化するため

■増収要因

- 既存顧客の受注が大きく伸長
  - ・美容商材
- 新規の顧客開拓についても、新たなOEM顧客との取引を開始



下期

- 既存大口顧客への拡販
  - ・既存製品の受注に加え、新アイテムの受注による売上増を目指す
- 営業担当の人材育成
  - ・若手外国人営業担当の更なる育成に取り組み、営業力のレベルアップを図る

### 上期 売上高前年同期比：84.9%

#### ● 新商品の投入



2021年2月発売  
機能性表示食品  
『RICH 水溶性食物繊維』



2021年2月発売  
『RICH 納豆キナーゼ3000』

#### ■ 減収要因

##### ◆ 市場

新型コロナウイルス 第3波により、首都圏1都3県、大阪・京都などに、緊急事態宣言（1/8～3/21）が発令



- テナントとして入る百貨店本体が来客数の減少に苦戦し、当社の店舗もその影響を受ける
- さらに当部門が取り組んできたテナント店舗以外の売上も百貨店催事の中止や規模縮小で苦戦する

#### 【店舗数】

2020年8月期 期首 49店 2月末 41店

2021年8月期 期首 41店 2月末 41店

\*2021年3月31日 松坂屋 上野店 閉店



### 下期

- キャンペーンによる自社製品の販売強化
- ・ セミナー、測定会にてコンサルティング販売を強化する



皮膚のカロテノイド測定器  
（ベジメータ®SC）



老化物質（糖化）測定器  
（AGEs）



売上増と利益率の向上

- 販売力を高める
  - ・ 販売員向けの勉強会を実施し、商品知識の増強と販売技術の向上を図る
  - ・ 顧客管理をデータ化し、適正アプローチを行う

## 上期

売上高前年同期比：121.0%

### ■ 増収要因

#### ◆ 市場

巣ごもり需要

- 広告効率(CPOの向上)を追求したことにより、広告費を増やさずに新規顧客数が前年同期比107.7%となる

- 機能性表示食品のラインアップを充実

機能性を表示できることで、訴求ポイントが分かりやすく、受注好調



ラインアップを充実させた機能性表示食品 14品目

- 従来顧客からの受注が好調

## 下期

- 新規顧客の獲得

新聞広告、テレビショッピングを中心に、広告効率の高い、宣伝活動を継続

受注好調な機能性表示食品も広告展開する

- 機能性表示食品のラインアップ強化と、広告展開



複数の機能性を掛け合わせたダブルヘルスクレームの商品開発を進め、上市を目指す

### 上期

2020年9月に、エーエフシー中国旗艦店を天猫国際（Tモール）に出店

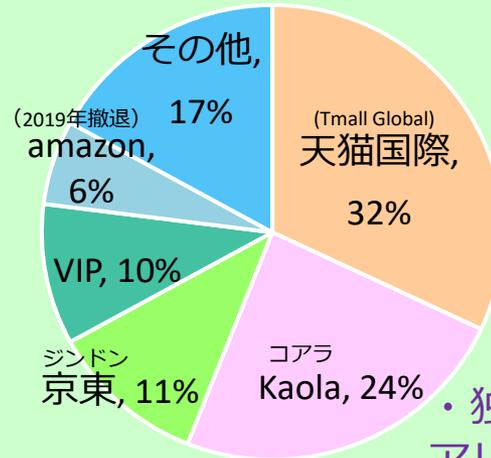


#### ◆市場

・世界の越境EC市場規模 【出所：2020年経済産業省】



・中国の消費者が日本から越境ECで購入している額 【出所：2020年経済産業省】



・越境ECシェア率 【出所：2019年アリババ調べ】

・安心感のある  
メイドインジャパン

健康食品、医薬品、美容機器、  
ベビー用品の売上が伸びている

・独身の日の (毎年11月11日/ダブルイレブン)  
アリババグループの取扱高：  
約7兆9,000億円

**上期** 売上高前年同期比：128.8%

■ 増収要因

- コラーゲン商材の好調
- 通信販売事業を営む顧客からの受注が増加

◆ お客様の動向

お客様のニーズが、AFC商品の販売から各社オリジナリティを求めPB商品やOEM受注へと変化



**下期**

◎ AFCブランド商品

- 機能性表示食品のラインアップ拡充
  - ・ 機能性表示食品の開発に注力



AFC卸販売部門で販売する機能性表示食品

◎ お客様ニーズの変化への対応

- PB商品・OEM受注対応できる体制を整え受注拡大を図る
  - ・ OEM営業経験者の投入
  - ・ 営業担当者を教育し、オリジナル商品を提案できる人材に育成する

## 上期 売上高前年同期比：107.3%

### ■増収要因

#### ●ジェネリック医薬品の好調



・ピムロ顆粒（下剤）〈先発薬：アローゼン／市場約15億円〉

・シルデナフィル錠（生活習慣改善薬）

〈先発薬：バイアグラ〉

2014年9月発売

・フィナステリド錠（AGA治療薬）

〈先発薬：プロペシア〉

2016年12月発売

・タダラフィル錠（生活習慣改善薬）

〈先発薬：シアリス〉

2020年4月発売

販売を強化してきた値入率の高いジェネリック医薬品への切り替えが進み、同社の粗利益率が前年同期の15.3%から21.2%に改善

上期黒字化を達成

## 下期 引き続き、重点4商品の拡売

### 【重点4商品】

ピムロ顆粒、シルデナフィル錠、フィナステリド錠、タダラフィル錠



### ●投資した医薬品の生産設備を活用し、漢方薬のOEMを受注

- ・稼働率が上がったことにより、粗利率が向上
- ・新規設備により、西洋薬への進出



2020年10月発売  
エーアイプレミアム

## 上期 ≪(株)なすびを子会社化、外食事業を拡大≫

\* 2021年4月14日リリース資料参照



- ・ 2020年9月、株式会社なすび（静岡市）とFC契約及び業務提携契約を締結
- ・ 2020年10月、第1号店「ぶどうの丘草薙」（ビュッフェレストラン）をオープン



エーエフシーの全国に広がるネットワークと、なすびの新業態開発力と店舗運営ノウハウを活かし、店舗拡大などのシナジー効果を生み出す

### ● 株式取得スケジュール

基本合意日	2021年4月14日
取締役会決議日	2021年5月10日（予定）
株式譲渡契約締結日	2021年5月10日（予定）
株式取得予定日	2021年6月1日（予定）

### ● 株式交換スケジュール

基本合意日	2021年4月14日
取締役会決議日	2021年5月10日（予定）
株式交換契約締結日	2021年5月10日（予定）
株式交換効力発生日	2021年6月1日（予定）

### ● 今後の見通し

2021年8月期連結業績への影響は軽微と見込まれますが、今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。





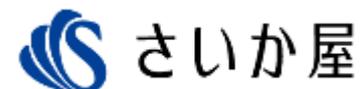
# 新規事業

AFC-HDアムスライフサイエンス

上期

## 《 子会社化 》

\* 2021年4月16日リリース資料参照



株式会社さいか屋の安定的運営及び当社グループとの全体的なシナジー効果の観点から、連結子会社化する予定

### ●スケジュール

取締役会決議日	2021年4月16日
契約締結日	2021年4月16日
さいか屋定時株主総会	2021年5月24日（予定）
払込期日	2021年5月26日（予定）



さいか屋 藤沢店



さいか屋横須賀  
ショッピングプラザ

### ●今後の見通し

第三者割当株式取得につきましては、2021年5月24日に開催予定のさいか屋株主総会における承認を前提としております。

2021年8月期連結業績に与える影響につきましては、2021年5月24日以降に、精査の上、速やかにお知らせいたします。



さいか屋 川崎店  
(川崎日航ホテルビル3階)

# AFC-HD アムスライフサイエンスグループ

---

## 業績予想



# 2021年8月期 連結予想

(単位：百万円)

連結	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期 第2四半期	2021年8月期 (予想)
売上高	16,252	15,819	<b>9,150</b>	18,000
営業利益	981	1,093	<b>1,016</b>	1,800
経常利益	1,014	1,099	<b>1,026</b>	1,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	783	676	<b>734</b>	1,250

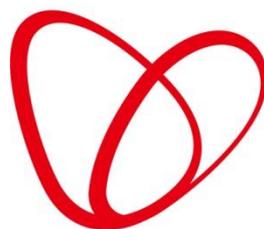
## ● 2021年8月期通期 部門別 売上高 予想 (ヘルスケア事業・医薬品事業)



## ● 2021年8月期上期 部門別 売上高 実績 (ヘルスケア事業・医薬品事業)



最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



株式会社 AFC-HD  
アムスライフサイエンス



本資料に関するお問い合わせ

社長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5139

E-mail : [ir-ams@ams-life.com](mailto:ir-ams@ams-life.com)

URL : <https://www.ams-life.co.jp/>

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。  
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。